

UDP-N-アセチルグルコサミン二リン酸化酵素

Cat. No. EXWM-3236

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 細菌および古細菌におけるアセタミド糖生成の経路の一部。いくつかの細菌（例：大腸菌、枯草菌、インフルエンザ桿菌）からの酵素は二機能性であり、EC 2.3.1.157、グルコサミン-1-リン酸N-アセチルトランスフェラーゼの活性も持つことが示されています。植物および動物からの酵素はN-アセチル- α -D-ガラクトサミン1-リン酸（参照：EC 2.7.7.83、UDP-N-アセチルガラクトサミン二リン酸化酵素）にしても活性がありますが、細菌の酵素はその基質に對して低い活性を示します。

別名 UDP-N-アセチルグルコサミンピロリン酸化酵素; ウリジン二リン酸アセチルグルコサミンピロリン酸化酵素; UTP:2-アセタミド-2-デオキシ- α -D-グルコース-1-リン酸ウリジリルトランスフェラーゼ; UDP-GlcNAcピロリン酸化酵素; GImUウリジリルトランスフェラーゼ; アセチルグルコサミン1-リン酸ウリジリルトランスフェラーゼ; UDP-アセチルグルコサミンピロリン酸化酵素; ウリジン二リン酸-N-アセチルグルコサミンピロリン酸化酵素; ウリジン二リン酸アセチルグルコサミンホスホリラーゼ; アセチルグルコサミン1-リン酸ウリジリルトランスフェラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.7.23

CAS登録番号 9023-06-7

反応 $UTP + N\text{-アセチル-}\alpha\text{-D-グルコサミン 1-リン酸} = \text{二リン酸} + \text{UDP-N-アセチル-}\alpha\text{-D-グルコサミン}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に對じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。